



学校だより

子どもの未来をみんなで創る

令和7年度 4月号

神奈川県立相模原中央支援学校

令和7年度がスタートしました

ご入学・ご進級、おめでとうございます

皆様はじめまして。校長として着任いたしました、片山です。4月8日に始業式、入学式を滞りなく終え、幼稚部2名、小学部19名、中学部21名、高等部46名の新しい仲間を迎えて、令和7年度がスタートしました。校内には毎日、子どもたちの歓声と笑顔があふれ、活気にみちています。

本校は、「子どもの未来を みんなで創る」という基本理念(コンセプト)を掲げており、平成23年の開校から、今年度で15年目を迎えます。これまで、保護者のみなさま、地域みなさまに、ご理解とご協力をいただきながら、学校としての歩みを積み重ねてきています。

子どもたちの「できた、わかった」を大切に、わかりやすい授業づくりに取り組むこと、一人ひとりの子どもの人格を尊重する姿勢を持って指導・支援することを大事にしながら、さらに活気あふれる学校にしていきたいと思えます。子どもたちが生き生きと学校生活を送って、学び、成長できるよう、また、保護者の皆様には安心して子どもたちを送り出していただけるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。(校長:片山葉子)

🌸 よろしくおねがいします 🌸

チームより 安心・安全な学校生活づくり

皆さん、ご入学・進級おめでとうございます。校内の色とりどりのチューリップやパンジーも花開き、皆さんが元気に登校してくるのを、暖かく迎えているようです。

新しい友だちや先生と出会い、新しい一年が始まりました。いろいろなことを体験して、感じたことを周りの人にたくさん伝えて、いろいろなことを学んでいきましょう。

保護者の皆様と共に、「子どもの未来をみんなで創る」ことに引き続き取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願いします。



(副校長:榎本 郁子)

各学校では教員を目指す大学生が実習等を行いますが、本校にも毎年大学生が実習生として来校します。教員免許取得を目指す大学生のうち、大学4年生は教育実習として2週間、授業や指導に取り組みます。緊張の面持ちのスタートですが、最終日には児童生徒も学生も、お互いに別れがたい様子です。この他に、小中学校の教員免許取得を目指す大学3年生は介護等体験として2日間、各クラスで児童生徒と一緒に活動します。また、教育学部の2年生の学生が、インターンシップの授業として、本校で週1回計19回実習を行います。

本校の皆さんと過ごすことで、大学生が多くのことを学び、教師として、また、皆さんへの理解者として「子どもの未来を みんなで創る」一員となってほしいと思っています。

(教育事務チーム:尾之上直美)